

分野	今の課題・問題	分野別の将来像	将来像実現のために必要な取り組み	
			既存の取り組み(一部抜粋)	話し合いで出された意見(一部抜粋)
子育て	• 子どもの数が減って地域行事がやりにくい（ペーロン、運動会） • 子どもの遊び場が少ない • 乳幼児が病気をした時などの地域でのサポート体制をどうしていくか • 男性が子育てを学べる場所やきっかけがない • 地区内での活動について情報共有がされていない	・地域で安心して子育てしやすいまち ～困った時に頼れる人、場所がある～	• 子育て支援教室 • 三和学童クラブ • 少年の主張発表大会 • 学校との情報交換会 • こんにちは赤ちゃん訪問 • 離乳食教室の手伝い • １００人パトロール • 肝試し • 体験ペーロン	• 地域で子どもたちが参加できるイベントの内容を考える • 子どもたちが集まれる場所をつくる • 地域で子育てをサポートできるしくみをつくる • 学校の授業以外にも子育ての体験学習を増やす • 情報（地区の活動など）を周知する手段の再構築 • 子育て世代の情報交換の場をつくる 
交流・つながり	• 住民同士のつながり、隣近所の関係がなくなっている • 輝き隊を中心に交流イベントを行っているが、広げていくためにもっと年配の方、近所の協力を得ていく必要がある • 行事、イベントの参加が少なくなっている • 地域で子どもが少なくなったので活気がなくなってきた • 自治会加入率が低下し、自治会役員をする人が少なくなっている	・蚊焼地域(校区)を輝かす！ 	• 蚊焼町町民大運動会 • ペーロン大会 • 夏祭り • スポーツ大会 • レクリエーションスポーツ大会 • ハロウィン • 新春マラソン大会	• 行事充実の為に地域、学校、世代間の連携を強める • 幅広い年代で情報交換会を開催 • 人との交流を通して助け合う • 若い人や地域の力を取り込み活動を通して地域全体のつながりを強める • 輝き隊、隊一味の活動を広げて、高齢者と交流 • 老人パワーを活用していく • 高齢者の方から育て方を習い、子どもたちが収穫するようなイベントをする • 昔の文化を子どもたちに高齢者から教える • 日頃から声をかけあって行事への参加をよびかけるなど、つながりを深める • 今の時代に合った行事や、誰もが楽しめる催しを実施する • 焼き芋大会（小学校の収穫祭）を復活させる • クリスマス、豆まきを実施する • 茶菓子等を出して話す場を作る • 海の資源や海を活かした交流（幅広い世代で） • 自然環境活動を通しての交流（世代交流） • 人が減らないように蚊焼の魅力を伝えるときともに、行事への参加を呼びかける • 自治会から転居人に声を掛け、とけ込みやすくする • 自治会は時代に合った規約を見直すべきでは（内容） • 負担にならないような役員等の選出を考える
健康・福祉	• 高齢者の１人暮らしが目立ってきている。外に出てこない、関わりを好まない方の状況をどのようにして把握していくか • みんなが集まる場がないのでつくる必要がある • 健康づくりのための環境整備が必要	・みんなが幸せに安全に暮らせる蚊焼	• 高齢者食事会 • 高齢者友愛訪問 • 地域包括支援センターとの連携	• 高齢者、障害者を支え合う体制をつくる（マップづくり、見守る人の情報提供等） • 老人クラブ活動への参加を促す • みんなが集まれる場を検討する • 消費カロリーや距離等を表示した健康マップを作成 
安全・安心	• 海拔が低く津波や大雨の際に心配なところがある • 災害時の避難場所を知らない人がいる • 防災訓練は毎年行っているが、内容を変えた訓練が必要 • １人で避難できない高齢者が増加しているので対策を考える必要がある • 災害時の救助体制を作っていく必要がある（とくに日中、若い人がいない時間） • 子どもの通学時に車がスピードを出しすぎて危ない • 道が狭く、荒れている箇所があり介助が必要になったときに不便 • 安全に通行できるように環境を整備する必要がある • 街灯が少なく暗い場所や空き家など防犯上気になるところがある	・老若男女の助け合い支え合いで安全安心なまちづくり	• 防災訓練 • 防災マップ • 100人パトロール • 消防団（年末警戒他） • 自主防災 	• 蚊焼地区全体を把握した防災マップづくりの充実 • 様々なケースを想定した防災訓練をやる • 災害弱者を自治会で把握し、対応方法をまとめて年に１回訓練する • 緊急時の連絡体制づくり • 通学路をきちんと整備して、注意喚起の看板を置く • バリアフリー化を促進する • 道路の荒れている箇所を行政に伝え、舗装してもらう • 街灯が必要な箇所を確認し暗い道を無くす • 子ども110番の家や通学、通勤ルート of 危険箇所をまとめ、住民に周知する • 青パトの運営
自然・生活環境	• バスの便数が減り、買い物や医療機関に行くのに苦労 • 道路脇に雑草が茂っている所がある • 川の環境が良くなってアユがいるので今後いかにして保全していくか • ゴミ出しマナーが悪く、ポイ捨ても多い • 犬、猫のフンが放置されている（野良猫の増加）	・住みやすいふる里をめざす	• 市道・里道の草刈（岳路） • 河川の清掃活動 • 岳路海岸清掃活動 • 市民大清掃（年１回）	• 乗り合いタクシー等のしくみを検討する • 雑草が生えて危ない所を点検し、市道・生活道路などの草刈をする • 魚が戻り、ホタルが舞うような川の環境づくりを行う • 環境づくりへの関心を高め仲間を増やす • マナーを向上させるために、分別の仕方等をわかりやすくお知らせする取り組みを行う • 野良猫の去勢をするなど地域で管理していく 
産業・仕事	• 蚊焼芋、蚊焼トマトが少なくなってきたのでどのように守っていくか • 農業の生産性を高める • 後継者を増やしていく必要がある • 有害鳥獣被害で農業者の意欲が低下しているので対策をどうしていくか • 遊休地（空き家、空き地）をいかに活かしていくか • 雇用、産業が乏しく若者が少なくなっている、いかに若者に戻ってきてもらうか	・若者が定着できる仕事場のあるまち 	• 鍛冶体験 • 漁業体験 • みさき駅さんわ研修会	• 各特産品の関係者の情報共有と勉強会を開催する • 地元特産物と蚊焼ペーロンの体験ツアーを検討する（マイ包丁作成、イモ堀りなどの農業体験・漁業体験、焼きイモ試食） • 体験型との組み合わせた産業 • イノシシ等の対策を行う • 協議会で遊休地を借り上げ、遊休地の活用方法を考える • 若い人との座談会などの機会をつくる • 若い人のリーダーの発掘する • 青年団をつくり、そこに女性をたくさん加入させる • 若者が働けるような場を生み出す